



吉林農業科技学院

JiLin Agricultural Science and
Technology University

中華人民共和国



●学部・大学院生 13893 人 ●教職員 970 人

ホームページ <https://www.jlntu.edu.cn/>

交流協定締結年月日：2022年11月7日 主管学部：農学部



<https://www.jlntu.edu.cn/>より抜粋

国際交流の特色

吉林農業科学技術大学は、樹氷の都として知られる中国北部の河川都市、吉林市に位置する吉林省の公立学部大学です。創立は1907年で、100年以上の歴史を持つ教育機関です。2022年に農学部との間で学術国際交流協定を締結しました。

同校には現在2つのキャンパスがあり、敷地面積は198万平方メートル、建築面積は30万400平方メートルあります。9つの学部を擁し、現在49の専攻があり、農学を強み・特色とし、工学、農学、教養、科学、経済、経営の6分野をカバーしています。図書館には、書籍118万6千冊と電子書籍の合計64万8千冊が所蔵されており、植物標本館には3,000点を超える野生動植物の標本が所蔵されています。

交流実績（令和4年度～令和5年度）

年度	R4	R5
受入・派遣		
学生の受入	0	0
学生の派遣	0	0
研究者・職員の受入	1	2
研究者・職員の派遣	0	0
オンライン交流参加者 (本学)	2	0
オンライン交流参加者 (相手機関)	3	0

教員からの声

香川大学農学部と吉林農業科学技術大学との学術国際交流協定の締結は2022年で、交流の歴史は比較的新しい大学ですが、当研究室の元学生で、愛媛大学大学院連合農学研究科で博士号を取得した赫兵氏が農学系主任を務めている関係もあり、積極的な交流が進んでいます。2023年には同大学の教員が愛媛大学大学院連合農学研究科に留学し、また同年度中に同大学の教員が当研究室に外国人研究者として訪問し、共同研究をおこなう予定です。

同校教員の留学生によると、吉林市は四季がはっきりしていて、気候が快適で、周囲を山々に囲まれ、市内を松花江が流れており、景観が美しく、交通が便利で、特産品が豊富で、生活費が安いとのことでした。

農学部教授 豊田正範

学生からの声

2023年4月より愛媛大学大学院農学研究科博士後期課程に在籍することになりました。香川大学農学部の豊田教授の研究室で実験研究を始めることができ、光栄に思います。豊田教授をはじめ、研究室の同級生や大学職員の方々に生活面や勉強面でのお世話になり、大変嬉しく思っています。

今後は、さらに学問のレベルを向上させ、農業の発展に貢献したいと考えています。

劉 延超（2023年愛媛大学大学院農学研究科入学）